

自転・公転方式スーパーミキサー

あわとり練太郎



AR-250 取扱説明書

特 長

専用容器で、250ml / 250g (ネット重量) の材料を一度にミキシングできる。

自転 (800rpm) / 公転 (2000rpm) によるミキシングモードと、自転 (60rpm) / 公転 (2200rpm) による脱泡モードが独立設定でき、連続操作も可能。

非接触 (攪拌翼がない) のため、材料の劣化を防止できる。ミキシングの再現性が高く、人によるバラツキがない。

この度は、シンキー製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、本紙は大切に保管し、操作方法がわからない時に、再度お読みください。

目 次

1. 安全上のご注意	3
2. 概要	5
3. 定格	5
4. 各部の名称	6
5. 取り扱い上の注意事項	7
6. 開梱及び再梱包	9
7. 付属品	10
8. 輸送ロックの解除	10
9. 設置	13
10. 準備・運転	
10-1. 材料と容器の準備	14
10-2. 材料の投入	14
10-3. 容器のセット	15
10-4. 回転バランスの調整	16
10-5. ドアのクローズ	16
10-6. 電源の投入	17
10-7. 運転	18
10-8. 容器の取り出し	21
10-9. メモリー設定	21
11. トラブルシューティング	23
12. エラー表示	24
13. 保守・管理	24
14. 保証・アフターサービス	25

1. 安全上のご注意

本製品は、安全に十分配慮した設計になっておりますが、誤った使い方をすると、たいへん危険です。未然に事故などを防ぐために、以下の表示を必ずお守りください。

警告

下記の注意を守らずに使用した場合、火災・感電・破裂等により、本製品および人身や周囲に、深刻な事故が生じることがあります。

本体の分解・改造などは、絶対に行わない。

定格電圧以外の電源には接続しない。

定格電圧を遵守の上でご使用ください。定格電圧は、単相 100V AC ±10%、50 / 60Hz です。

ドアを開けたままスタートさせない。

本製品にはドアセンサが取り付けられているため、ドアが開いた状態ではスタートしません。スタートさせる際は、必ずドアをきちんと閉めてください（衣類等が挟まったりしていないか確認）。

落下、転倒の恐れのある場所では使用しない。

傾斜している場所では使用しない。

振動や衝撃が激しいところでは使用しない。

設置面の強度が不足している場所では使用しない。

攪拌物質、溶剤、その他を本体内に飛散させたり、こぼしたりしない。

化学反応・腐食などにより、本体の破損や感電の恐れがあります。

危険物・毒物・劇物の混和には使用しない。

人体に危険、または有害な材料は攪拌しないでください。

本製品は、防爆仕様にはなっておりません。内容物の気化・化学反応による、温度上昇・体積増加が基で、内容物（特に有機溶剤等沸点の低い物質）が本体内に漏れた場合、引火・爆発のおそれがありますので十分ご注意ください。

注意

下記の注意を守らずに使用した場合、火災・感電・破裂等により、本製品および人身や周囲に、損害を及ぼすことがあります。

運転前に必ず輸送ロックを解除する。
本機が損傷する恐れがあります。

本体の開いている穴や隙間から、異物を混入しない。
誤動作や故障の原因になります。

ミキシング容量は定格を超えて設定しない。
水・油・薬品がかかる場所、塵埃・金属粉・塩分の多い場所では使用しない。
直射日光の当たる場所や、周囲温度が5～35の範囲を超える場所では使用しない。

湿気の多い場所や、温度変化が急激で結露するような場所では使用しない。
取扱説明書に表記されている使用環境の範囲内でご使用ください。また、清潔な環境でご使用ください。塵埃などは故障の原因となります。

使用前には点検・確認をする。
安全のため、使用の際には点検・確認をしてください(13.保守・管理の項参照)。もし何らかの異常を発見した場合、使用を中止してお買い求めの販売代理店または当社までご連絡ください。

攪拌・混合時に、発熱する材料を使用する場合は、温度上昇に注意する。

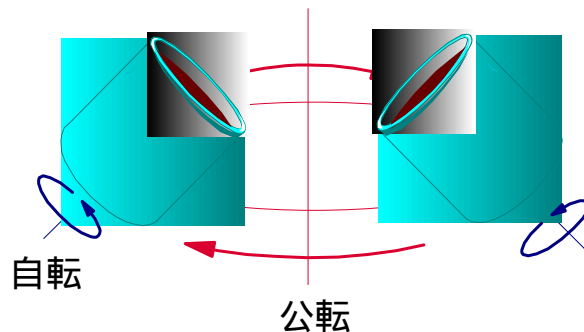
標準容器はHDPE製のため、80程度で軟化、変形が始まります。
高粘度の材料や粉体を大量に混合する場合、攪拌・混合時に発熱する場合、未知の材料で本製品を使用する場合には、必ず最初に短時間(15～30秒)のミキシングを行い、温度の上昇具合を確認してください。
その後、容器の変形が起こらない範囲で、ミキシング時間を設定してください。
特に、内容物に沸点の低い物質を含む場合は、ミキシング中の温度上昇に十分ご注意ください。

2 . 概要

『あわとり練太郎』AR-250 は、各種材料等を効率よく混ぜ合わせながら、同時に脱泡することを目的に開発された、高性能な攪拌・脱泡機です。

動作原理はたいへんシンプルで、材料の入った容器を自転させながら、ある半径をもって公転させています。これにより、大きな遠心力を連続的に発生させ、材料の中に発生または存在する気泡を押し出すと同時に、混和します。

【基本原理】



3 . 定格

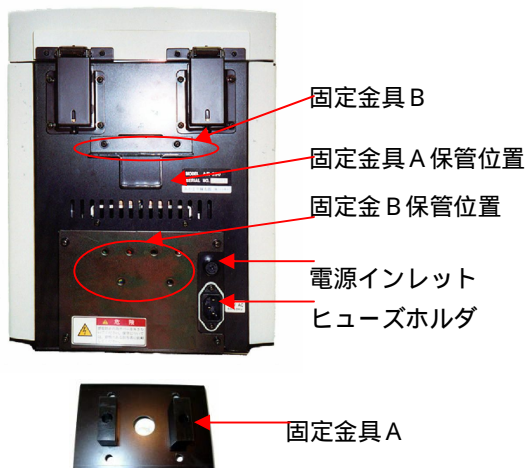
品名	脱泡コンディショニングミキサー 『あわとり練太郎』	
型式	AR-250	
方式	自転 / 公転プロペラレス混和方式	
タイマー設定範囲	0 秒 ~ 30 分	
	ミキシングモード	脱泡モード
公転速度	2000 rpm	2200 rpm
自転速度	800 rpm	60 rpm
標準容器	内容積： 250ml および 150ml、HDPE 製	
最大ミキシング容量	250 ml 容器使用時 250g (ネット重量) 150 ml 容器使用時 200g (ネット重量)	
供給電源	電圧	単相 100V AC ±10%、50 / 60 Hz
	消費電力	待機時：約 50VA 動作時：最大 900VA
使用周囲環境	5 ~ 35 35 ~ 85% RH (結露なきこと)	
本体外形寸法	390H × 300W × 290D (mm)	
質量	本体：約 22 kg	

4 . 各部の名称

【正面】



【背面】



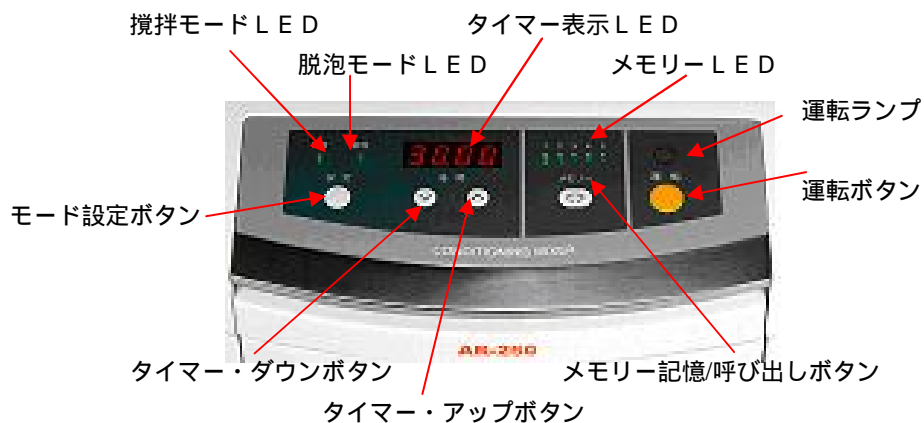
【開閉時】



【回転部】



【コントロールパネル】



5 . 取り扱い上の注意事項

お取り扱いについては、以下の事項をよくご理解の上、正しくお使いください。

本機の回転トレイは、最大 2200rpm の高速で回転しています。規定の攪拌容量を超えた状態で動作させると非常に危険です。絶対におやめください。

本機は、回転バランスをとるために、カップホルダーの対面に可変式のダミーウエイトを埋め込んでおります。作動させるときは、必ず、回転バランス調整ダイヤルで回転バランス指針を調整してください。

回転バランス指針は、カップホルダーにセットするものと同じ重量（材料＋容器＋アダプターのグロス重量）にダイヤルを合わせます。

本機は、専用容器（150ml、250ml）と指定のプラ壺容器が使用できます。それ以外の容器は使用できません。専用容器以外の容器の使用を希望される場合は、事前にご相談ください。

250ml 容器に入れられる材料は、最大 250ml（50～250g ネット重量）です。攪拌容量を超えた状態で動作させると非常に危険です。絶対におやめください。

150ml 容器に入れられる材料は、最大 150ml（0～200g ネット重量）です。攪拌容量を超えた状態で動作させると非常に危険です。絶対におやめください。また、150ml 容器をご使用になる場合は、専用のアダプターをお使いください。

250ml 容器を用いた場合、50g 未満の材料の攪拌はできません。50g 未満の材料の攪拌には、150ml 容器をご使用ください。

回転バランス調整ダイヤルの目盛りは、グロス重量（材料＋容器＋アダプター込みの重量）に合わせてください。

回転バランス調整ダイヤルの目盛りは、便宜上 360g までありますが、下表の最大材料質量以上に容器の中に材料を入れないでください。

【専用容器に材料を最大限入れたときの回転バランスダイヤル指示】

容器の種類	容器の質量	アダプターの質量	最大材料質量	回転バランスダイヤル
250ml 容器	60g		250g	310g
150ml 容器	40g	100g	200g	340g

容器の中栓と外蓋は、回転中にはずれないように、きつく締めてください。

容器は使用毎に、ねじ部の汚れ、摩耗や損傷などが無いことを必ずご確認の上、ご使用ください。ねじ部に汚れがあると、その飛沫が遠心力で吹き飛び、思わぬ故障の原因となる場合があります。

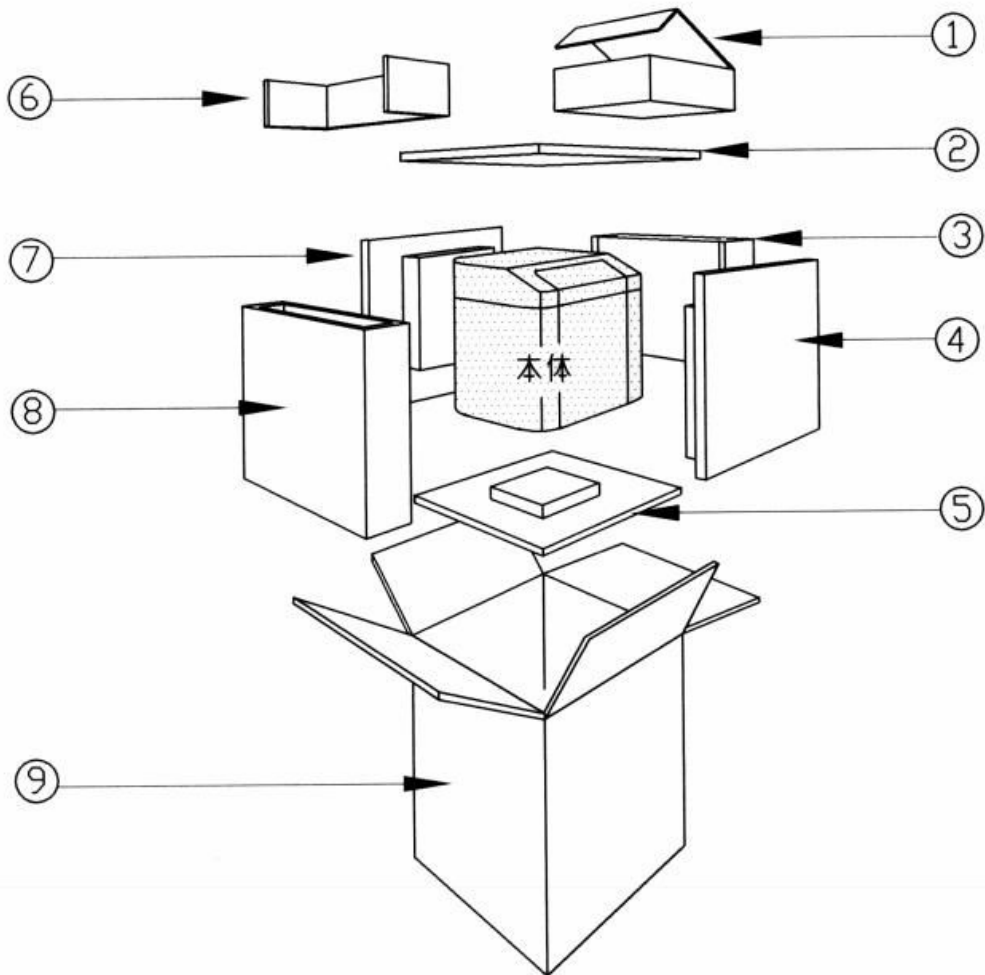
ミキシング中に異常な振動・異音がした場合は、ただちに使用を中止し、その原因を取り除いてください。不明な場合はご連絡ください。

6 . 開梱および再梱包

ご購入の製品は、下図のように梱包されております。梱包バンドをはずし、図の要領で開梱してください。

開梱後、本体を輸送する場合は、下図の要領で箱詰めし、梱包バンドでとめてください。

空き箱は、大切に保管してください。



付属品入れ

天板

側板 D

側板 B (薄い発泡体)

底板

仕切り板

側板 C (厚い発泡体)

側板 A

外箱

7. 付属品

本製品には、本体のほかに下記の付属品が同梱されています。開梱した後、速やかにご確認ください。

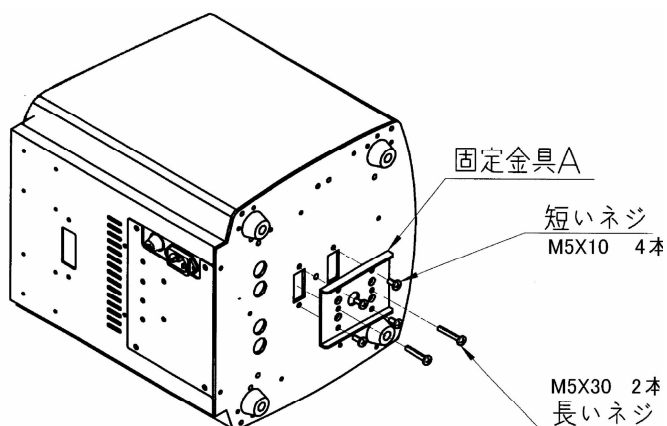
取扱説明書（本書）	1部	
ACケーブル（3Pアダプター含む）	1本	
250ml 容器	3個	
150ml 容器	1個	
150ml 容器用アダプター	1個	
同上用ゴムリング	1個	
プラ壺アダプター	250AD-NAN-E（E-1、E-2）	3種のうちの1種を各1個
	250AD-NAN-U（U-1、U-2）	
	250AD-NAN-S（S-1、S-2）	
底面用 固定金具 A	1個	開梱時は、本体の底面と背面に固定されています。
背面用 固定金具 B	1個	
M5×50 プラスねじ	1本	
M5×30 プラスねじ	2本	
M5×10 プラスねじ	4本	
M4×12 プラスねじ	2本	

8. 輸送ロックの解除

本製品には、輸送中の事故を防止するため、回転機構部が動かないように輸送ロックが取り付けられています。これを付けたままミキシングを実行すると、本体が破損する恐れがあります。設置する際には、必ず下記の手順に従ってロックを解除してください。

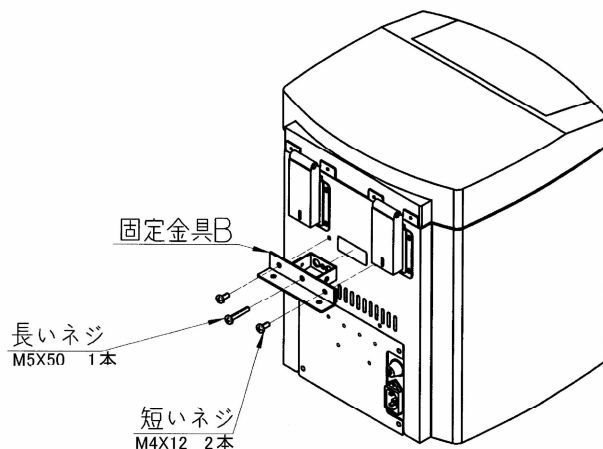
（1）固定金具Aの取りはずし方

本体を静かに横に倒し、底面に固定されている固定金具Aを、6本のネジ（M5×10...4本、M5×30...2本）を緩めてはずします。



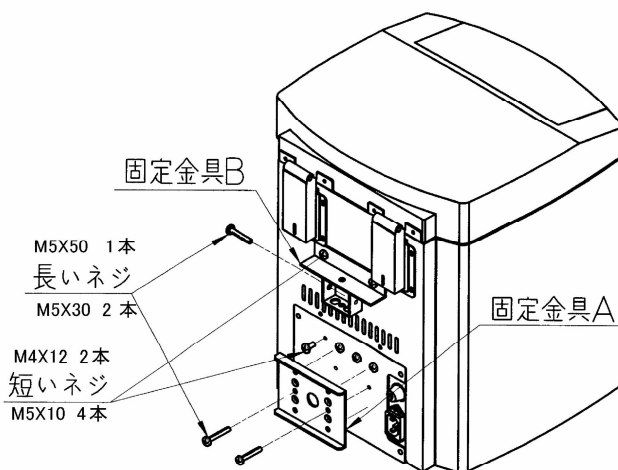
(2) 固定金具 B の取りはずし方

背面に取り付けられている固定金具 B を、3本のねじ (M4×12...2 本、M5×50...1 本) を緩めてはずします。



(3) 固定金具の保管

取りはずした固定金具 A (底面)、固定金具 B (背面)、ねじ類を、紛失防止のため本体背面の保管穴に取り付けます。



注意 1

先に背面の固定金具Bを取りはずしてしまうと、横にしたとき中の回転メカニズム（つり構造）が傾斜し、底面の固定金具Aが取りはずしにくくなります。必ず、底面の固定金具Aから取りはずしてください。

注意 2

取りはずした固定金具A（底面）、固定金具B（背面）、ねじ類は、本体を輸送するときに再び必要となります。紛失しないように、必ず本体背面の保管場所に取り付けておいてください。

また、これらの固定金具を所定の位置に取り付けないと、一部、内部が露出した状態になり、たいへん危険です。必ず、本体背面の保管穴に取り付けてください。

注意 3

設置後に、再び輸送する必要が生じた場合、保管しておいた固定金具A（底面）と固定金具B（背面）を、保管しておいたねじで取り付けます。この時、取り付ける順序は、先に背面の固定金具Bを取付け〔9.（2）項参照〕、あとで底面の固定金具Aを取り付けます〔9.（1）項参照〕。

背面の固定金具Bを取り付ける際、回転トレイを手で回し、バランスウエイトの目盛りが後側（背面側）にくるようにします。そして、固定金具Bのねじ穴と回転メカニズムのねじ穴を合わせ、固定金具Bを取り付けます。



回転トレイを手で回し、回転メカニズムのねじ穴を合わせる



固定金具Bを取り付ける

9 . 設置

付属のACケーブル(レセプタクル側)を本機の電源インレットに差し込み(写真A)、もう片方(プラグ側)を電源コンセントに差し込みます(写真B)。



(写真A)

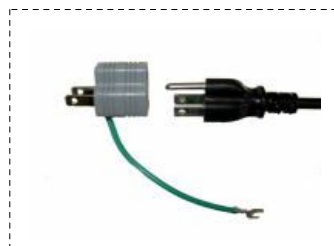


(写真B)

注意

コンセント形状が穴2個の場合
電源ケーブルに付属の3P変換アダプタ
を使用し、アダプターに付いているアース
線はアース端子に接続します。

コンセント形状が穴3個の場合
付属の3P変換アダプタは使用せず、そのまま穴位置を合わせながらコンセ
ントに差し込みます(写真B)。



10 . 準備・運転

10 - 1 . 材料と容器の準備

攪拌する材料と適した容器（付属容器）を準備します。

本機で攪拌できる容量は、最大で 250ml（250g）です。

材料が 150ml 以下の場合は、付属の 150ml 容器を選択し、材料が 150～250ml の場合は 250 ml 容器を選択します。

10 - 2 . 材料の投入

容器の蓋を開け、中に材料を入れ、蓋をしっかりと閉めます。

注意

材料を入れる順序

容器の中に材料を入れる際は、攪拌効率を上げるため、次の順序で入れてください。

液状・ペースト状の材料を先に入れ、粉末状の材料はあとから入れる。

比重の小さい材料を先に入れ、比重の大きい材料はあとから入れる。

粘度の低い材料を先に入れ、粘度の高い材料はあとから入れる。

10 - 3 . 容器のセット

(1) 150ml 容器の場合 (入れられる材料の質量は最大 200g)

容器ごと質量を計測します。

(150ml 容器 + 150ml アダプター + 材料のグロス重量)

ミキサーのドアを開け、付属の 150ml 容器アダプターをミキサーのカップホルダーに、3カ所のキー溝とホルダーの突起を合わせてセットします。



材料の入った 150ml 容器を 150ml 容器アダプターにまっすぐに奥までセットします。

ドアを閉めます。

(2) 250ml 容器の場合 (入れられる材料の質量は最大 250g)

容器ごと質量を計測します。

ミキサーのドアを開け、そのままミキサーのカップホルダーに、3カ所の突起とキー溝を合わせてセットします。

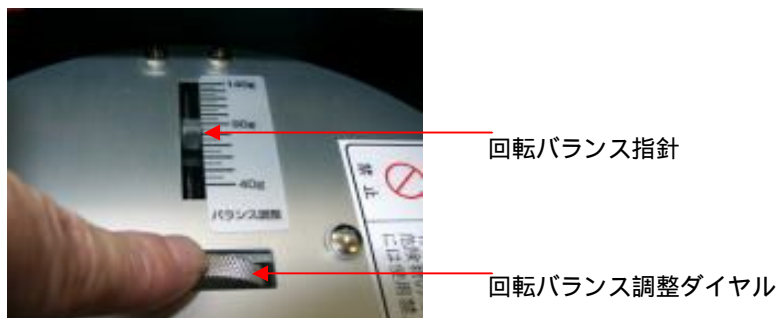
150ml 容器と同様。



ドアを閉めます。

10 - 4 . 回転バランスの調整

回転バランス調整ダイヤルを回して、計測した質量（容器 + 材料 + アダプター）に指針を合わせます。



注意

本機は、容器を片側だけにセットする構造のため、カップホルダーの対面に可変式のダミーウェイトを埋め込み、回転バランスを調整するようになっています。

スタート前に、必ず材料の入った容器とアダプターの総質量を計測し、回転バランス指針を調整ダイヤルで、計測した質量に合わせてください。この調整が合っていないと回転バランスが崩れ、振動や回転音が増大するばかりでなく、回転メカニズムに過大な負荷がかかり、急速な摩耗や破損につながります。

10 - 5 . ドアのクローズ

ドアを閉めます。

10 - 6 . 電源の投入

(1) 電源コードの確認

付属の電源コードが AC-100V コンセントと本機のインレットに接続されていることを確認します (9 . 設置の項参照)

この時、AC-100V コンセントの形状により、3P アダプターを使用します。

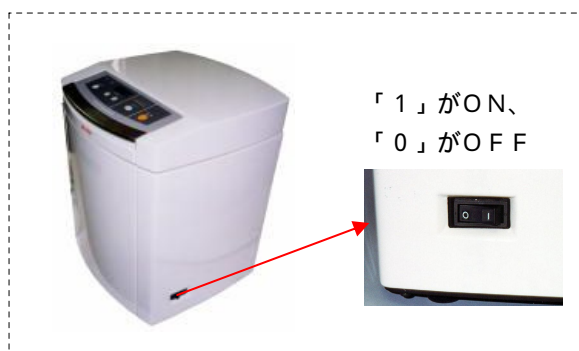
注意

本機の電源コードのプラグは、アース付きの 3P タイプになっています。電源コードを接続する際、AC-100V コンセントの形状がアース端子穴付きの場合は、付属の 3P アダプターを使用せず、そのまま差し込みます。

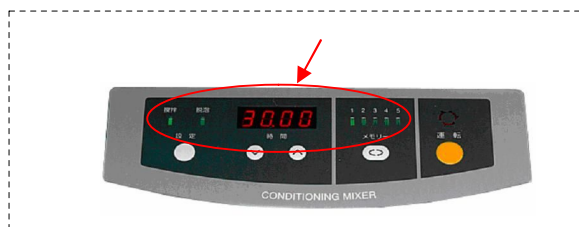
また、AC-100V コンセントの形状にアース端子穴がない場合は、付属の 3P アダプターを使用し、2P のプラグに変換して使用します。

(2) 電源を ON

本体、右側面の電源スイッチを ON にします。



電源が ON になると、コントロールパネルの LED が点灯します。

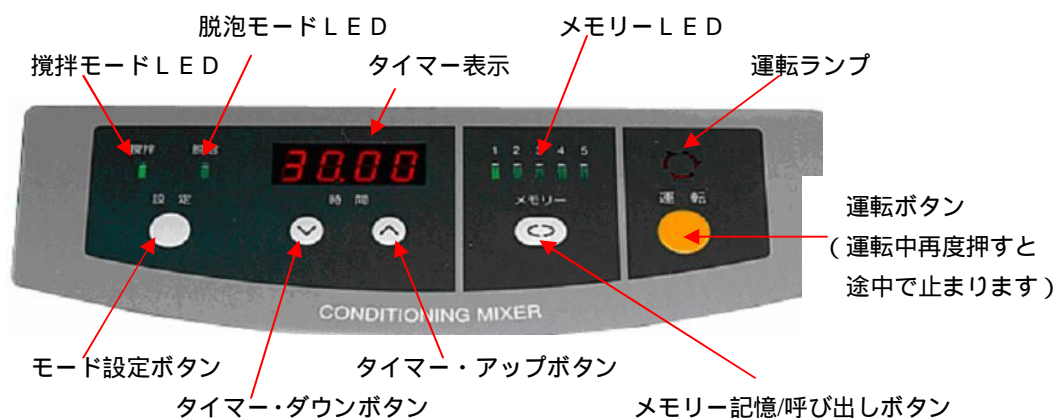


10 - 7 . 運 転

(1) 条件の初期表示

電源を入ると、コントロールパネルに前回の設定値が表示されます。

ご購入時は、メモリー番号のすべての「攪拌モード・脱泡モード」タイマーが「0」に設定されています。



(2) モードの設定

本機は、攪拌モードだけでも脱泡効果がありますが、より高度な脱泡が可能にするため、脱泡モードを独立して備えています。攪拌モード、脱泡モードは、単独または継続して設定することができます。

軟膏の調剤は、攪拌モードのみを使用します。

攪拌だけを行う場合

モード設定ボタン を押し、攪拌モードLED を点灯させ、タイマー・アップ / タイマー・ダウン ボタンで、任意の秒数をタイマー に表示させます。

この時、脱泡モード のタイマー表示 は、「0」にします。

脱泡だけを行う場合

モード設定ボタン を押し、脱泡モードLED を点灯させ、タイマー・アップ / タイマー・ダウン ボタンで、任意の秒数をタイマー に表示させます。

この時、攪拌モード のタイマー設定 は、「0」にします。

攪拌と脱泡の両方を行う場合

モード設定ボタン を押し、攪拌モードLED を点灯させ、タイマー・アップ / タイマー・ダウン ボタンを押して、任意の秒数をタイマーに表示させます。

再度、モード設定ボタン を押し、脱泡モードLED が点灯するので、タイマー・アップ / タイマー・ダウン ボタンを押して、任意の秒数をタイマーに表示させます。

(3) タイマーの設定

タイマー・アップ / タイマー・ダウン ボタンを1回押すごとに、1秒ずつ表示が変わります。また押し続けると、30秒単位、1分単位で早送りされます。

注意 1

本機は攪拌力が強いので、初めてご使用になる場合は、タイマー設定時間を短め(15秒~30秒)に設定し、材料の様子を確認の上、その後の時間を決めてください。

注意 2

本機のタイマー設定時間は、最大30分となっております。どうしても30分以上攪拌・脱泡する必要がある場合は、一度終了したあと、少し時間を置いてから再度運転してください。

(4) 運転スタート

運転ボタンを押すと、運転ランプが回転して運転中であることを知らせます。

攪拌もしくは脱泡のみを設定した場合

スタートと同時にタイマー表示 がカウントダウンし、0になると停止します。完全に停止すると、ブザーが鳴ります。

攪拌と脱泡の両方を設定した場合

まず攪拌モード がスタートし、設定時間が経過してタイマー表示 が0になると、一旦停止します。その後、自動的に脱泡モード に移行し、設定した時間をカウントダウンし、タイマー表示 が0になると停止し、ブザーが鳴ります。

注意 1

本機の攪拌モードと脱泡モードの関係は次のようになります。

攪拌モード：自転 / 公転 (800 / 2000rpm)

自動継続

脱泡モード：自転 / 公転 (60 / 2200rpm)

攪拌モードが終了すると、自動的に脱泡モードが始まります。

注意 2

本機は、攪拌または脱泡がスタートすると、安全上ドアがロックされ、終了するまで開きません。

もし、途中でドアを開ける必要や、運転を中止する必要がある場合は、運転ボタンを再度押してください。ブレーキがかかり停止します。

注意 3

本機は、攪拌または脱泡中に、停電や電源コードが引き抜かれるなど、電源が供給されない事態が生じると、ブレーキをかけることができなくなり、安全上、ドアロックがかかったままになります。

ロックされたドアを開くには、再度電源を入れてください。完全に回転が停止し、安全が確認されると、自動的にドアロックが解除されます。

10 - 8 . 容器の取り出し

- (1) 本機のドアを開け、容器を取り出します。
(150ml 容器の場合は、ゆっくり回しながら、
アダプターから抜き取ってください)



- (2) 容器の外蓋、中栓を外し、材料のでき上がりの状態を確認いたします。
- (3) でき上がりの状態が不十分の場合は、攪拌時間、脱泡時間を調整の上、繰り返し行ってください。

注意

でき上がりの状態は、材料の種類・粘度・比重、また添加物の性質・量等により、同一の設定時間でも差が出ます。
何度か条件を変え、標準時間を設定されることをお勧めします。

10 - 9 . メモリー設定

本機は、攪拌と脱泡の時間をセットにして、あらかじめ5つまでメモリー登録することができます。一度登録した内容は、電源を切っても失われません。

- (1) メモリー番号の選定
メモリーボタン を押して、登録したい番号のメモリーLED (メモリー1 ~ 5) を点灯させます。
メモリーLED は、押すごとに 1 2 3 4 5 の順で点灯します。

(2) 攪拌および脱泡時間の設定

希望のメモリー 番号のLEDが点灯していることを確認し、モード設定ボタン を押して、まず攪拌モード LEDを点灯させます。そして、タイマー・アップ /タイマー・ダウン ボタンを押して、タイマー表示 に希望の攪拌時間を表示させます。

次に、モード設定ボタン を再度押して、脱泡モードLED を点灯させます。タイマー・アップ /タイマー・ダウン ボタンを押して、タイマー表示 に希望の脱泡時間を表示させます。

(3) メモリーへの登録

メモリーボタンを1秒間以上押し続けると、メモリーLED が点滅し、ブザーが鳴って、選定したメモリー番号に攪拌および脱泡時間を登録したことを知らせます。

(4) メモリー内容の登録変更

メモリー内容は、(1) ~ (3) を再度実行することにより変更できます。

(5) メモリー内容の呼び出し

メモリーボタン を押して、実行したい番号を点灯させます。

メモリーLED は、押すごとに1 2 3 4 5の順で点灯します。

番号を点灯させたときに、登録した内容(攪拌および脱泡時間)を確認することができます。

注意

動作中は、メモリーLEDが1つだけが点灯します。5つ全てにメモリー内容が登録されていて、更に別の条件で運転する必要がある場合は、メモリーLEDの選定(メモリー1~4)にかかわらず、そのまま攪拌と脱泡のタイマーを設定して実行してください(メモリーには上書きしない)。ただしこの場合は、一度電源を切ったり、ほかのメモリーを呼び出すことによって内容が失われます。

次回まで、攪拌と脱泡の条件を残しておく必要がある場合は、必ず5つのメモリーのいずれかに登録してください。

11. トラブルシューティング

本機に不具合が生じた場合、修理ご依頼前に次の事項をご確認ください。

故障症状	対処方法	参照頁
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードは、コンセントと本機インレットに正しく差し込まれていますか。 ・電源スイッチはONになっていますか。 ・ヒューズが切れていませんか。切れている場合は、規定（10A）のヒューズに交換してください。 	13、18
運転ボタンを押してもスタートしない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機のドアを開けたまま運転ボタンを押していませんか。ドアを閉めてから運転ボタンを押してください。 ・輸送ロックは正しく解除しましたか。輸送ロックが正しく解除されていないと、回転部がロックされ運転を開始できません。 ・攪拌および脱泡のタイマー設定が、「0」になっていませんか。 	18～21
異常振動や異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・回転バランス調整を、正しく設定しましたか。回転バランスの調整が正しくないと、バランスが崩れ異常振動や異常音となって現れます。 動作中のうねり音は、異常ではありません。 	17
うまく攪拌・脱泡できない	<ul style="list-style-type: none"> ・攪拌と脱泡の時間は適切ですか。 ・メモリーの内容が変わっていませんか。 ・材料の量が間違っていないですか。 	18～21

12. エラー表示

本製品には、ドアセンサ、振動センサ、回転センサが組み込まれており、回転動作中に何らかの異常が発生すると、コントロールパネルにメッセージが表示され、運転が停止します。主な原因と対策は以下の通りです。

原因がはっきりしている場合はその原因を取り除き、コントロールパネルのいずれかのボタン（運転ボタン以外）を押してください。本製品の機能が復帰します。

原因が不明で復帰できない場合は、お買い求めの販売代理店、または当社までお問い合わせください。

エラー表示	原因	対策
Err1	・ドアを開けたまま運転をスタートした。 ・運転中ドアが開いた。	・ドアを閉めて運転してください。
Err2	・運転中に突然異常振動が発生した。 ・振動値が規定値を超えた。	・容器がはずれて飛んだり、部品が破損していませんか。 ・回転バランスを調整してください。
Err3	・運転開始後、回転数が正常に上がらない。	・お買い求めの販売代理店、または当社までご連絡ください。
Err4 ~ Err8	・電子回路、またはコントロールソフトの内容に関するエラーです。	・お買い求めの販売代理店、または当社までご連絡ください。

13. 保守・管理

安全にご使用いただくため、使用前に必ず以下の項目をご点検ください。

- (1) 電源プラグがコンセントと本機のインレットに、しっかりと挿し込まれているかをご確認ください。
- (2) カップホルダーの内側や周囲、または回転トレイに材料が付着している場合は、速やかに拭き取ってください。そのままスタートさせると、付着した材料が飛び散り、故障や火災の原因となります。
- (3) 外装に重度の損傷（破断や大きなへこみなど）がないかをご確認ください。

ご使用中にうまくミキシングできなくなったり、その他の不具合が生じたときは、お買い求めの販売代理店、または当社営業部までご連絡ください。

14 . 保証・アフターサービス

本製品は、厳重な品質管理のもとで製造・出荷しておりますが、万が一故障した場合は、お買い求めの販売代理店または当社までご連絡ください。

本製品の保証期間は、納入日より1年間です。この期間に発生し、明らかに当社（製造上の原因に基づく故障）に原因があると判断される故障については、無償で修理いたします。

ただし、次の場合は保証の対象外とさせていただきますので、ご了承ください。

保証対象外の諸条件

- 1 . 海外でご使用の場合。
- 2 . 駆動用ベルトの消耗。
- 3 . 攪拌材料や溶剤などの飛散やこぼれによる故障、事故。
- 4 . 使用中に生じたキズやへこみなど、本製品への外的打撃による破損。
- 5 . 使用方法の誤りや、制限を超えた攪拌等の誤用・乱用、および不注意による故障。
- 6 . 火災・地震・水害等の災害による故障や破損。
- 7 . 不当な修理や改造、異常電源電圧に起因する故障。
- 8 . 専用外の容器、アダプターを使用したことに起因する故障。

【連絡先】

お買い求めの販売代理店 または、

株式会社シンキー

東京都千代田区神田佐久間町 3-21-5

TEL : 03-5821-7455 FAX : 03-3865-7833

株式会社シンキー 大阪営業所

大阪府中央区北新町 3-4

TEL : 06-6966-5522 FAX : 06-6966-5523

注意

本書の一部、または全部を無断で使用、複製することはできません。
本書の記述内容に際し、お客様で運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
本書に記述されている内容は、予告なしに変更することがあります。

2004-10-21



本社：東京都千代田区岩本町 3-7-16

ミナミ営業部：東京都千代田区神田佐久間町 3-21-5

TEL：03-5821-7455 FAX：03-3865-7833

大阪営業所：大阪市中央区北新町 3-4

TEL：06-6966-5522 FAX：06-6966-5523